【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2014-105863(P2014-105863A)
【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2014-030
【出願番号】特願2013-172780(P2013-172780)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｊ　9/00　(2006.01)
Ｆ０２Ｆ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｊ　9/00　Ａ
Ｆ０２Ｆ　3/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成28年5月25日(2016.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ピストンリングを受け入れるための少なくとも１つのリング溝を有する燃焼機関のためのピストンであって、
前記リング溝は、前記リング溝のピストンヘッド側の上方溝フランクよりもピストンヘッドから更に離れたピストンスカート側の下方溝フランクを有し、
潤滑剤を蓄積するために、前記下方溝フランクに形成されるあるパターンの凹部を含み、該凹部は、潤滑剤が前記パターンに進入するときに、前記パターンの凹部が面一にされるよう構成されるよう、えくぼのような、浅いカップ形状を有することを特徴とする、
ピストン。
【請求項２】
各凹部は、隣接する凹部の内部容積から分離される別個の内部容積を有することを特徴とする、請求項１に記載のピストン。
【請求項３】
各凹部は、その頂部に単一の開口を有することを特徴とする、請求項１又は２に記載のピストン。
【請求項４】
前記パターンの前記凹部の個々の頂部開口の開口平面は、共通の平面の上に配置されることを特徴とする、請求項３に記載のピストン。
【請求項５】
前記凹部は、それらの頂部開口に実質的に円形の断面形状を有することを特徴とする、請求項１乃至４のうちのいずれか１項に記載のピストン。
【請求項６】
前記凹部は、それらの頂部開口に実質的に多角形の断面形状を有することを特徴とする、請求項１乃至４のうちのいずれか１項に記載のピストン。
【請求項７】
ピストンリングを受け入れるための少なくとも１つのリング溝を有する燃焼機関のためのピストンであって、

前記リング溝は、前記リング溝のピストンヘッド側の上方溝フランクよりもピストンヘッドから更に離れるピストンスカート側の下方溝フランクを有し、潤滑剤を蓄積するために、あるパターンの凹部が、前記下方溝フランク内に形成され、
前記凹部は、互いに交差し合う方法において配置される縦溝を含む、
ピストン。
【請求項８】
前記パターンの前記凹部の前記個々の頂部開口の開口平面は、共通の平面の上に配置されることを特徴とする、請求項７に記載のピストン。
【請求項９】
前記パターンは、円形の断面形状、多角形の断面形状、又は前記縦溝の形状を有する、凹部から選択される、少なくとも２つの異なる形状の凹部の混合を含むことを特徴とする、請求項７に記載のピストン。
【請求項１０】
前記凹部の前記頂部開口の表面積は、前記開口平面と平行で前記凹部の内側にある平面の最大表面積であることを特徴とする、請求項１乃至９のうちのいずれか１項に記載のピストン。
【請求項１１】
前記パターンは、規則的なパターンであることを特徴とする、請求項１乃至１０のうちのいずれか１項に記載のピストン。